

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成 21 年 11 月 12 日 (2009.11.12)

【公開番号】特開 2005-56843 (P2005-56843A)

【公開日】平成 17 年 3 月 3 日 (2005.3.3)

【年通号数】公開・登録公報 2005-009

【出願番号】特願 2004-226290 (P2004-226290)

【国際特許分類】

H 0 1 J 35/06 (2006.01)

H 0 1 J 35/14 (2006.01)

H 0 1 J 35/30 (2006.01)

【F I】

H 0 1 J 35/06 E

H 0 1 J 35/14

H 0 1 J 35/30

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 9 月 17 日 (2009.9.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

イメージング管 (33) のカソード (38) であって、
アノード (44) 上の焦点 (46) に電子ビーム (98) を放射するエミッタ (74) と

、

開口部 (80) と、

前記電子ビーム (98) の形成に寄与する前記エミッタ (74) の第 2 の側面 (78) 上に電氣的に配置され、前記開口部 (80) に対して差異的にバイアスがかけられた背面部材 (112) と、

前記背面部材 (76) と前記アノード (44) の間に電氣的に配置され、前記アノード (44) 上の焦点 (46) の位置決めを調整する少なくとも 1 つの偏向 (82) 電極ペアと

、

を含むカソード (38)。

【請求項 2】

前記エミッタ (74) の第 1 の側面と前記アノード (44) との間に電氣的に結合された前面部材 (70) を更に含み、

前記アノード (44) は、前記開口部 (80) を備え、前記電子ビーム (98) の形成に寄与する請求項 1 に記載のカソード (38)。

【請求項 3】

前記少なくとも 1 つの偏向電極 (82) ペアは、

エミッタ中心線 (100) の第 1 の側面に電氣的に配置された第 1 側面ステアリング電極 (86) と、

エミッタ中心線 (100) の第 2 の側面に電氣的に配置された第 2 側面ステアリング電極 (90) と、

を含むことを特徴とする請求項 1 に記載のカソード (38)。

【請求項 4】

前記背面部材(76)と前面部材(70)との間に結合された複数の絶縁体(124)を更に含み、前記カソード(38)の少なくとも1つの構成要素を絶縁することを特徴とする請求項1に記載のカソード(38)。

【請求項5】

前記少なくとも1つの偏向電極(82)ペアは、前記電子ビーム(98)を前記エミッタ(74)から非対称的に抽出するようにバイアスをかけられることを特徴とする請求項1に記載のカソード(38)。

【請求項6】

前記少なくとも1つの偏向電極(82)ペアが、
偏向電極の第1のペア(116)と、
偏向電極の第2のペア(118)と、
を含むことを特徴とする請求項1に記載のカソード(38)。

【請求項7】

イメージング管(33)のカソード(38)であって、
アノード(44)上の焦点(46)に電子ビーム(98)を放射するエミッタ(74)と

、
前記電子ビーム(98)の形成に寄与する前記エミッタ(74)の第2の側面(78)上に電氣的に配置された背面部材(112)と、

前記背面部材(76)と前記アノード(44)の間に電氣的に配置され、前記アノード(44)上の焦点(46)の位置決めを調整する少なくとも1つの偏向(82)電極ペアと

、
を含み、

前記少なくとも1つの偏向電極(82)ペアと前記背面部材(112)は、前記電子ビーム(98)が調整されるための電流が生じるようにバイアスをかけられる、
カソード(38)。

【請求項8】

イメージング管(33)のカソード(38)であって、
アノード(44)上の焦点(46)に電子ビーム(98)を放射するエミッタ(74)と

、
前記電子ビーム(98)の形成に寄与する前記エミッタ(74)の第2の側面(78)上に電氣的に配置された背面部材(112)と、

前記背面部材(76)と前記アノード(44)の間に電氣的に配置され、前記アノード(44)上の焦点(46)の位置決めを調整する少なくとも1つの偏向(82)電極ペアと

、
を含み、

前記少なくとも1つの偏向電極(82)ペアと前記背面部材(112)は、前記電子ビーム(98)を停止するための電流が生じるようにバイアスをかけられる、
カソード(38)。

【請求項9】

イメージング管(33)のカソード(38)であって、
アノード(44)上の焦点(46)に電子ビーム(98)を放射するエミッタ(74)と

、
前記電子ビーム(98)の形成に寄与する前記エミッタ(74)の第2の側面(78)上に電氣的に配置された背面部材(112)と、

前記背面部材(76)と前記アノード(44)の間に電氣的に配置され、前記アノード(44)上の焦点(46)の位置決めを調整する少なくとも1つの偏向(82)電極ペアと

、
を含み、

前記少なくとも1つの偏向電極(82)ペアが、
偏向電極の第1のペア(116)と、

偏向電極の第2のペア(118)と、
を含むことを特徴とするカソード(38)。

【請求項10】

前記少なくとも1つの偏向電極(82)ペアが、前記焦点(46)の幅方向の位置と幅を
調整する、請求項9に記載のカソード(38)。